

中学生海外派遣 ～夢と希望をのせて～



この中学生海外派遣事業は、長田義弘さん（緑町在住）の1億円の寄附を基金として、その利子により実施されています。

しかし、最近の経済状況から基金の利子だけでは運営が困難になり、市の予算も加え実施している中、少しでもお役に立ちたいと新たに50万円の寄附をいただきました。

そこで、長田さんを訪ね、中学生海外派遣に寄せる思いをお聞きしました。

Q これだけ多額の寄附をされたきっかけをお聞きます。

A 我が子の教育が一段落し、八潮市の子どものために役に立ちたいという気持ちから寄附をしました。

Q 八潮市の中学生に期待することはどのような事ですか。

A 35年前、仕事の関係でアメリカへ行く機会がありました。見るものすべてスケールの大きさにびっくりしました。これからの若い世代には、世界のスケールの大きさを肌で感じ、将来大きく羽ばたいてほしいです。

Q この事業への期待はどのような事ですか。

A 若いうちに見聞を大いに広め、体験を通して学んでほしいです。そのことが、八潮市の将来にきつと役立つ人材が育つと思っています。

Q 教育に関心が高いように思われますが、理由をお聞かせください。

A 自分が育った時代は、教育環境も恵まれておらず、苦労しました。日本は資源も限られていますが、日本にとつての資源は人材です。これからの次代を担う若者には、勉強も運動も限界へ挑戦するんだという気概を持つてほしいものです。そのためにも、教育は大変重要だと思っています。

 わずか1時間ばかりの訪問でしたが、長田さんのこれからの時代の生き残る若者たちへの期待の大きさ、若者たちに託す情熱を肌で感じました。

市では、国際社会で活躍できる人材育成を目標に、平成2年より市内中学生を海外に派遣しています。今年度も各中学校で、面接を受け決定した17人が、7月22日、ケアンズ（オーストラリア）に向け出発します。

この中学生海外派遣が始まってから今年度を含め派遣された生徒は、総勢360人にのぼり、帰国後の学校生活の充実はもとより、将来の進路に向け夢と希望を持つなど大きな成果を上げています。

☎ 指導課 ☎ 358



中学生海外派遣結団式

後期高齢者医療保険料の基準が変わります

<変更内容>

| | 平成22・23年度 | (平成21年度まで) |
|------|-----------|------------|
| 所得割率 | 7.75% | 7.96% |
| 均等割額 | 40,300円 | 42,530円 |
| 限度額 | 50万円 | 50万円 |

<保険料は大切な財源です>

後期高齢者医療にかかる費用には、約5割の公費が充てられ、また約4割は現役世代からの支援金でまかなわれ、残りの約1割を保険料として被保険者の皆さんに納めていただいています。

<後期高齢者医療保険料の計算の仕方>

$$(\text{前年の総所得金額} - \text{基礎控除}33\text{万円}) \times \text{(所得割率)} \text{ 7.75\%} + \text{(均等割額)} \text{ 40,300円} = \text{年間保険料}$$

<均等割額の所得による軽減について>

| 軽減割合 | 同一世帯内の被保険者および世帯主の総所得金額などの合計額 | 平成22・23年度 | (平成21年度まで) |
|--------|--|-----------|------------|
| 9割軽減 | 【33万円】以下で、同一世帯内の被保険者全員が年金収入80万円以下（他の各種所得なし）の世帯 | 4,030円 | 4,250円 |
| 8.5割軽減 | 【33万円】以下の世帯 | 6,040円 | 6,370円 |
| 5割軽減 | 【33万円+24.5万円×世帯の被保険者数（世帯主である被保険者を除く）】以下の世帯 | 20,150円 | 21,260円 |
| 2割軽減 | 【33万円+35万円×世帯の被保険者数】以下の世帯 | 32,240円 | 34,020円 |

※被用者保険の被扶養者であった方の軽減および所得割額の軽減については、変更はありません。

☎ 八潮市国保年金課 ☎ 833、埼玉県後期高齢者医療広域連合 ☎ 048-833-3120